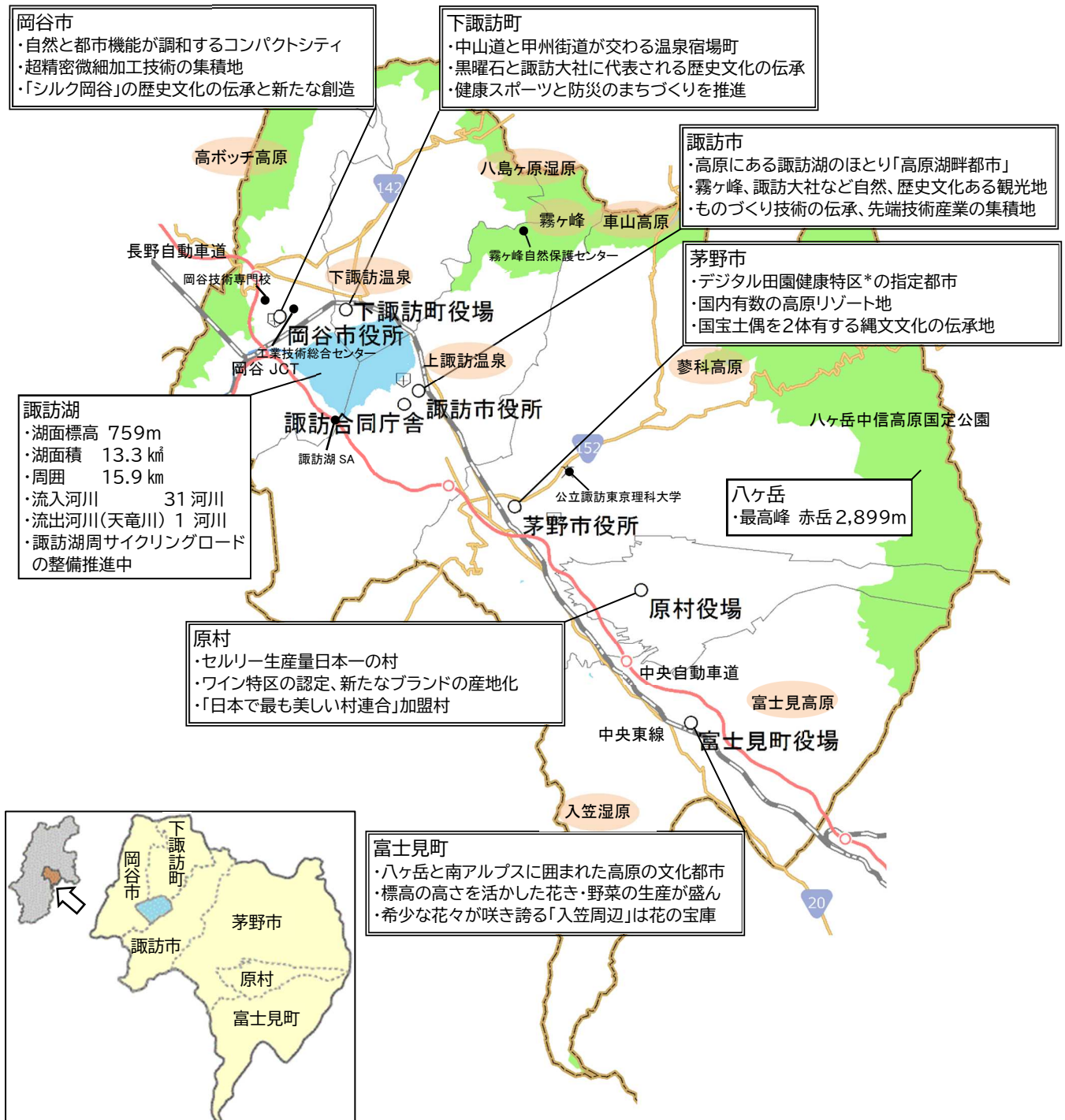


## 諏訪地域（岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村）

### 諏訪地域の特性

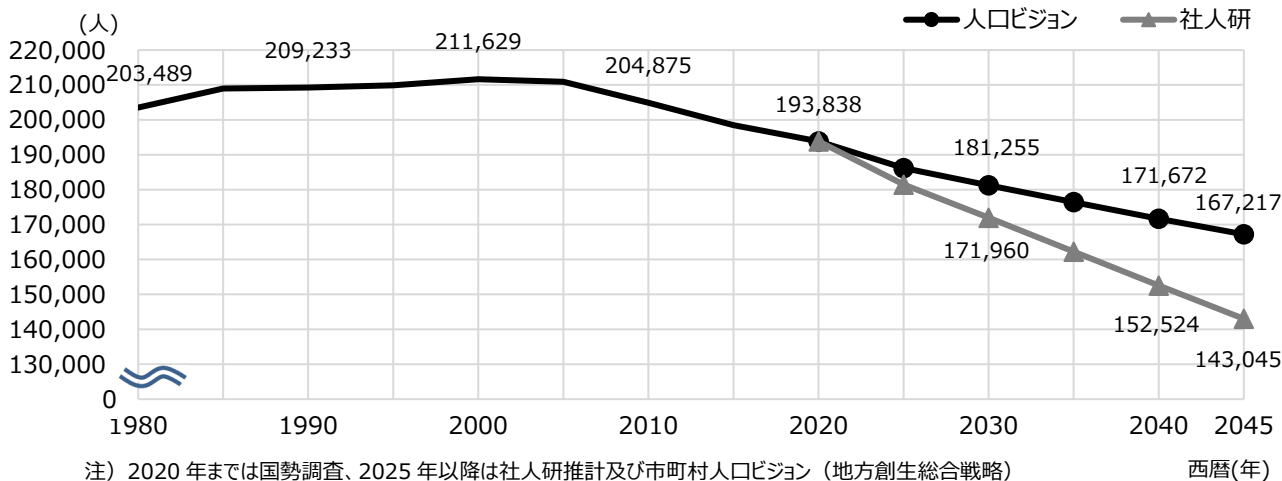
- ・雄大な八ヶ岳連峰に抱かれた標高 700mを超える盆地に、古来山紫水明と賛美され満々と水を湛える諏訪湖を擁する潤いと緑輝く地域です。
- ・精密加工技術を活かした先端技術産業が集積しています。
- ・夏季冷涼な気候を活かした農業が盛んで、県下有数の野菜・花きの産地となっています。
- ・山岳や高原、湖、温泉などの自然に恵まれ、縄文遺跡・御柱祭など歴史・伝統文化が息づいています。
- ・中央自動車道、JR中央東線等、交通の大動脈の結節点となっています。

### 【管内の概況】

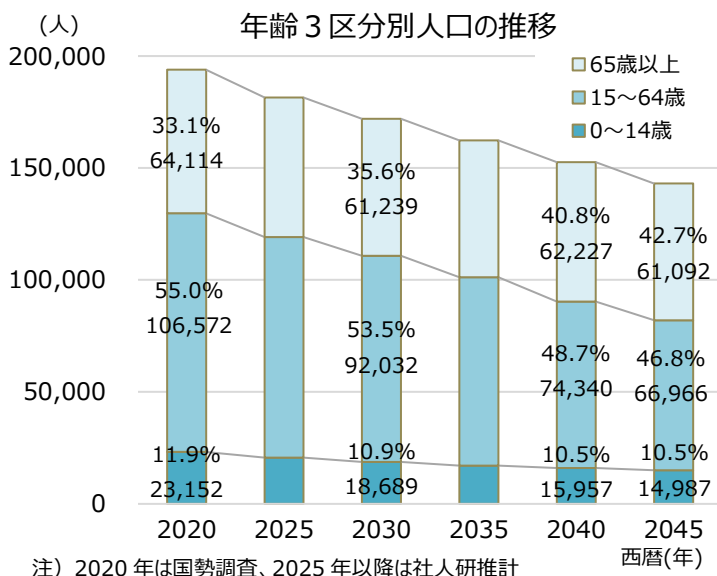


## 【人口】

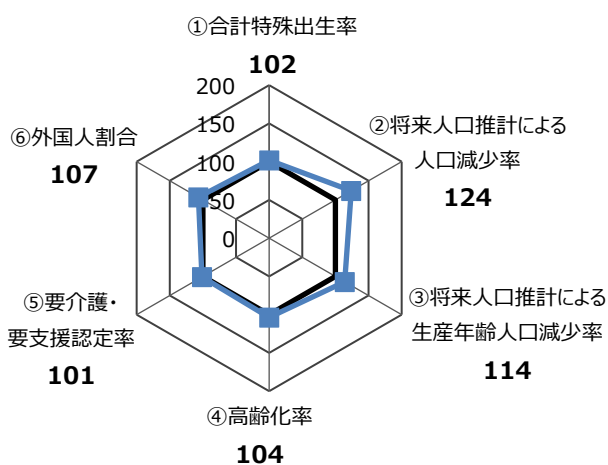
### 人口の推移



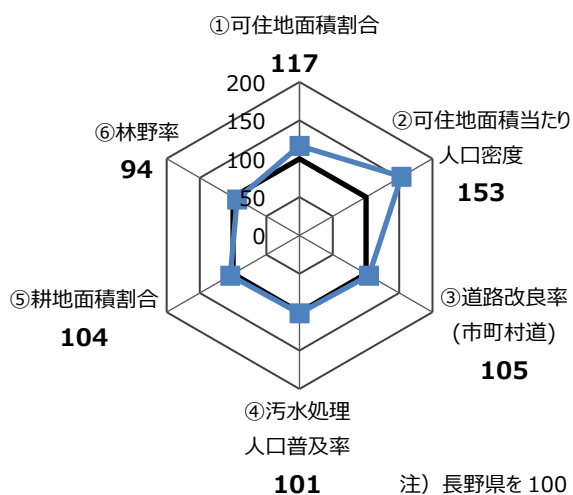
### 年齢3区分別人口の推移



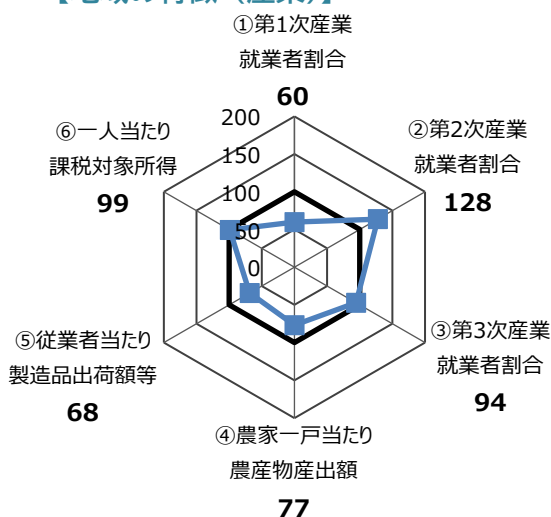
## 【地域の特徴 (人口)】



## 【地域の特徴 (地勢)】



## 【地域の特徴 (産業)】



- ・人口は減少傾向にあり、将来人口推計による減少率は県全体を上回っています。人口減少抑制策を講じた市町村人口ビジョンによると、2045年に約16.7万人となる見込みです。
- ・人口密度、可住地面積割合は県全体を上回り、コンパクトなまちづくりが特色です。
- ・第2次産業就業者割合が高く、製造業などが地域雇用を牽引しています。
- ・第1次産業就業者割合が低い一方、農家一戸当たり農産物産出額は県全体に迫っており、花きなど高収益作物の栽培が盛んであることを示しています。

～諏訪<sup>うみ</sup>の湖・八ヶ岳<sup>やま</sup>の恵み～活力ある地域を未来につなぐ

- ・変革を担う多様な人材の活躍により、元気な製造業、観光業、農林業が実現しています。
- ・「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」が地域一体の取組により実現しています。
- ・八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然を活かした持続可能な取組が地域に根付いています。
- ・脱炭素社会への意識が向上し、健康で安全・安心に暮らすことができる地域が実現しています。

地域重点政策



1 ものづくり・観光・農林業振興

地域の強みを活かした産業の活性化、変革を担う人材育成により稼ぐ力を高めます。

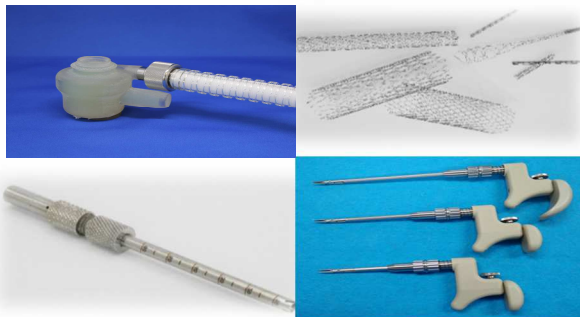
【現状と課題】

- ・精密加工技術を活かした医療・ヘルスケア等成長期待分野への展開が進む一方、中小零細企業が多く、労働生産性は県全体を下回っており、付加価値を生み出す力を高める必要があります。
- ・生産年齢人口の更なる減少や加速するデジタル社会の中で、新しい価値を創り出すDX\*の推進とそれを実行できる人材の育成が課題となっています。
- ・日帰り客の割合が高く、観光地消費額は伸び悩んでおり、国内外から選ばれる観光地域ブランドの向上、滞在型観光地への転換が求められています。
- ・八ヶ岳山麓の豊かな自然と共生した農林業を将来にわたって持続させるため、農産物の安定生産や担い手育成、素材（木材）生産力の強化が課題となっています。

【取組内容】

●未来志向型企業の創造

- ・工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門、長野県産業振興機構諏訪センターと連携した伴走型支援により、医療・ヘルスケア、次世代高速通信等の成長期待分野への挑戦を後押し
- ・管内6市町村・産業支援機関等が地域一体で開催する「諏訪圏工業メッセ」を支援し、高度な独自技術を有する地域企業と国内外企業とのマッチング機会を創出
- ・市町村等と連携し、諏訪地域の産業振興拠点の広域的かつ横断的な取組を支援
- ・専門家と連携し、脱炭素への取組支援、諏訪圏ものづくり推進機構が中心となって策定する中小企業向け「脱炭素ロードマップ」の普及啓発で環境に配慮したものづくりを推進



県産業振興機構の支援により諏訪管内企業が開発した医療機器



諏訪圏工業メッセバーチャル展示会(オンライン)

●DX\*の推進を担う多様な人材の育成

- ・公立諏訪東京理科大学、信州大学諏訪圏サテライトキャンパス、岡谷技術専門校、市町村等と連携し、地域企業の求める多様な人材を育成
- ・諏訪圏ものづくり推進機構、地域の学校・金融機関と連携し、地域企業がかかえる課題をAI\*（人工知能）などのデジタル技術や若者の豊かな発想力で解決する取組を支援

●観光地域ブランドの向上

- ・誰もが楽しめる観光に向けた受け入れ環境の整備、歴史・文化・食・アクティビティなど観光資源の掘り起こし・ブラッシュアップ・結びつけで地域の魅力を高め、滞在型観光を推進するとともに、諏訪地域のブランド力を向上



諏訪湖とハケ岳



諏訪湖周のサイクリング

●高品質で安定した農業振興

- ・基幹的な農業水利施設などの生産基盤整備や難防除病害虫の防除方法の確立によりブロッコリー、セルリーなど諏訪地域のブランド農産物の安定生産を推進
- ・市町村、JA等と連携し、新規就農者の確保・相談体制の充実による野菜・花きを中心とした担い手育成や温暖化に適応したりんご・ワイン用ぶどうなどの栽培技術向上を支援
- ・「信州の環境にやさしい農産物認証\*」や「GAP\*」の取得を支援し、環境保全型農業を推進



セルリー畑のかん水施設(原村)



新規就農者トラクター研修

●間伐から主伐・再造林\*へ、持続可能な林業の実現

- ・民間林業事業体等の先駆的な主伐・再造林\*モデルの拡大で素材（木材）生産力を強化

【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
製造業の従業者一人当たり付加価値額 工業統計調査（経済産業省）、 経済センサス-活動調査（総務省・経済産業省）	824 万円/人 (2019 年)	2019 年比 +11.2% (2025 年)	製造業の付加価値額を従業者数で除した数値 [国の経済成長目標等を参考として目標を設定]
観光地消費額 観光地利用者統計調査 (観光部)	231 億円 (2021 年)	354 億円 (2027 年)	管内観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計 [コロナ前水準(2019 年)まで回復する目標を設定]
農産物産出額 「農林業センサス」、「生産農業所得統計」、「市町村別農業産出額(推計)」を基に推計 (農政部調)	113 億円 (2020 年)	115 億円 (2026 年)	農産物の産出額 [近年の産地動向及び今後の振興策を考慮し目標を設定]
民有林における造林面積 (林務部調)	14.7ha (2021 年度)	52ha (2027 年度)	民有林において伐採地等に植栽をした面積 [長野県森林づくり指針を基に目標を設定]



## 2 諏訪湖創生ビジョンの推進

諏訪湖の水環境保全・湖辺面活用・まちづくりを地域一体となって進めます。

### 【現状と課題】

- ・諏訪湖の水質は中長期的に改善傾向にあり、全りん\*は環境基準を達成しましたが、COD\*、全窒素\*は達成していません。ヒシの大量繁茂や貧酸素水域拡大、漁獲量減少などの問題があります。
- ・「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現に向け、地域一体となって諏訪湖創生ビジョンを推進することが求められています。

### 【取組内容】

#### ●水質・生態系保全

- ・ヒシ除去による水質浄化・貧酸素対策、除去量の増加に向けた新たな仕組みづくり
- ・覆砂\*による底質改善、植生水路や沈殿ピットの整備により、栄養塩類\*の湖内流入を抑制
- ・ワカサギの生息量を安定させる新たな採卵技術、テナガエビの稚エビ放流など諏訪湖に適した資源管理法を開発
- ・カワアイサなど魚食性鳥類の生態・食性調査を踏まえた追い払い、オオクチバスなど外来魚の捕獲駆除により漁業被害対策を推進
- ・環境学習を軸とした希少トンボ（メガネサナエ\*）の保全活動を展開



水草刈取船によるヒシ刈取(諏訪湖)



地域住民による稚エビの放流(諏訪湖)

#### ●湖辺面活用・まちづくり

- ・流入河川河口部の治水浚渫\*に加え、湖内の利水・生態系保全に係る浚渫の調査・検証を実施
- ・水浴場等の利用を見据えた砂場造成など「泳ぎたくなる諏訪湖」に向けた水辺整備を推進
- ・市町村等と連携し、サイクリングやジョギングを安全に楽しめる環境づくりなど諏訪湖周の一体的な魅力づくりを推進

#### ●学びの推進、研究体制の強化

- ・諏訪湖環境研究センター（仮称）を整備し、より効果的・効率的な調査研究を実施
- ・「諏訪湖の案内人\*（仮称）」の養成、「諏訪湖の日\*」の周知など、諏訪湖の学びを推進



諏訪湖の日 ロゴマーク

### 【達成目標】

指標名		現状 (2021年度)	目標 (2026年度)	備考
諏訪湖の水質目標値 (第8期諏訪湖水質保全計画)	COD*	75%値	5.5mg/L	諏訪湖の水質改善を図るための目標値 [第8期諏訪湖水質保全計画を基に設定]
		(参考) 平均値	3.9mg/L	
	全窒素*	0.62mg/L	0.62mg/L	
	全りん*	0.041mg/L	現状水準の維持	
	透明度	1.2m	1.3m以上	



### 3 八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり

豊かな自然との共生、持続可能な発展を目指した地域づくりを地域一体となって進めます。

#### 【現状と課題】

- ・八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然は身近な癒しの場として唯一無二の恵みをもたらしてくれています。
- ・この魅力的な自然環境を守り、未来へつなげることは私たちの使命であり、暮らす人、訪れる人が協働して豊かな自然と共生できる地域づくりに参加することが求められています。
- ・自然保護、農林業、観光を中心とした地域特有の課題を再確認し、持続可能な振興策の創出に向けて地域一体となって取り組むことが必要です。

#### 【取組内容】

##### ●自然環境の保全

- ・登山道整備や市町村、地域住民との協働による里山整備・利用を支援
- ・ニホンジカの個体数管理、捕獲個体を活用したジビエ振興を推進
- ・長野県自然保護レンジャー\*、南北八ヶ岳保護管理運営協議会等と連携し、希少野生動植物の保全活動を推進
- ・霧ヶ峰の草原再生と植生回復に向け、霧ヶ峰自然環境保全協議会と連携し、官民協働により外来種駆除や防鹿柵を設置



地域住民と協働で里山整備(諏訪市)



霧ヶ峰での外来種駆除作業



信州産鹿肉の竜田揚げ

##### ●自然の恵みが活かされる地域づくり

- ・市町村と連携し、八ヶ岳西麓の総合的な振興策を検討・展開
- ・市町村と一緒に地域を結ぶ観光道路（一般県道富士見原茅野線）の延伸や整備について検討
- ・「信州ビーナスライン輝く道づくり実行委員会」が中心となって行うビーナスラインの環境整備に参加し、地域を挙げておもてなし機運を醸成
- ・甲信縄文文化発信・活性化協議会等と連携し、山梨県や佐久地域を含めた縄文トレイルサイクルコース構築など、日本遺産\*「星降る中部高地の縄文世界」のブランド力強化に向けた取組を推進
- ・キャンプ、トレッキングなどのアウトドアと霧ヶ峰自然保護センターで実施するガイドツアーを組み合わせたエコツーリズム\*を推進
- ・市町村と連携し、田舎暮らしや農業体験、ビュースポットなど八ヶ岳西麓の魅力を発信



八ヶ岳西麓3市町村による振興策の提言



霧ヶ峰自然保護センターによるガイドツアー



縄文謎解きサイクリングイベント

## 【達成目標】

指標名		現状	目標	備考
二ホンジカ 管理の目標値	捕獲頭数 (第5期二ホンジカ管理計画)	3,413 頭 (2021 年度)	4,650 頭 (2027 年度)	民有林内の有害捕獲頭数 [第5期二ホンジカ管理計画を 基に目標を設定]
	ジビエ利用頭数 (諏訪地域振興局調)	1,107 頭 (2021 年度)	2,000 頭 (2027 年度)	管内の信州産シカ肉認証処理 施設等の二ホンジカ処理頭数 [今後の振興策を考慮し目標を 設定]



## 4 脱炭素社会、安全・安心な地域の実現

脱炭素社会の推進、人がつながり健康で安全・安心に暮らすことができる地域づくりを進めます。

### 【現状と課題】

- ・地球温暖化に起因する気候変動で頻発する豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の出現、歯止めのかからない少子高齢化など、これまで経験したことのない事態に私たちは直面しています。
- ・2050 ゼロカーボン実現に向けた住民・事業者の意識改革、自然災害に強いまちづくり、「自助・互助・共助」による地域防災力の向上が課題となっています。
- ・地方回帰の流れをチャンスと捉え、人とのつながりや地域活動の活性化が求められています。
- ・移動手段の確保、そして生活習慣病の予防も含めた健康増進の取組によって、一人ひとりが生きがいをもって健康で安心して暮らすことができる地域づくりが求められています。

### 【取組内容】

#### ●脱炭素社会の推進

- ・地域住民・事業者の意識の高揚のため、環境イベント等を活用し、省エネルギーなどを普及啓発
- ・再生可能エネルギー諏訪地域連絡会議などを通じて市町村と連携し、屋根太陽光など地域と調和した再生可能エネルギーの普及を推進
- ・適切な森林整備、県産材の利活用による森林の持つ二酸化炭素吸収機能の維持・拡大とカーボンオフセット\*の仕組みづくりを支援

#### ●災害に強いまちづくり

- ・治山・治水施設等のインフラ整備や台風災害等に備えたライフライン沿いの危険木除去を推進
- ・南海トラフ地震防災対策推進地域等に指定されていることを踏まえ、自主防災組織の活動強化や地域住民が行う地区防災マップの作成を支援



ライフライン沿いの危険木除去作業



地域住民が行う地区防災マップ作成の様子

#### ●健康で安心できる暮らし

- ・諏訪圏移住交流推進事業連絡会の取組などにより地域活動や人々の交流の活性化を促進
- ・国道 20 号バイパスや諏訪湖スマート I C (仮称) 建設に合わせた道路網の構築
- ・J R 中央東線などの高速交通網の活用促進、リニア山梨県駅(仮称)の活用策を検討

- ・幹線公共交通ネットワークの構築、A I \*（人工知能）等を活用した地域公共交通の取組を推進
- ・健康長寿の阻害要因となる生活習慣病予防のため、健康づくりに対する意識や特定健診受診率の向上、食生活の改善に向けた取組を推進
- ・諏訪医療圏地域医療構想調整会議や諏訪地域包括医療協議会等の協力を得て、在宅医療を含めた「医療のあるべき姿」を検証し、安心して良質な医療を安定的に受けることができる体制を整備



諏訪湖スマートインターチェンジ(仮称)完成イメージ



諏訪地域食育フォーラムでの寒天料理の展示(原村)

【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
森林整備による二酸化炭素吸収量 (諏訪地域振興局調)	643t (2021年度)	960t (2027年度)	森林整備面積(再造林*・間伐)から推定 [今後の振興策を考慮し目標を設定]
地区防災マップ作成地区数 (諏訪建設事務所調)	52地区 (2021年度)	78地区 (2027年度)	災害時住民主導型警戒避難体制構築のための地区防災マップ作成地区数 [過去の実績を考慮し目標を設定]
特定健診受診率 (長野県国民健康保険団体連合会調)	40.9% (2020年度)	60.0% (2026年度)	特定健康診査対象者数に占める特定健康診査受診者数の割合 [厚生労働省・第3期特定健康診査等実施計画期間中の市町村国保目標値]